見てみよう須坂市の財政（主に中学生向け版）

はじめに

みなさん、こんにちは。

須坂市では、市民の皆さんに、市政運営に関する情報をより広く知っていただきたいと考えています。また、難しい言葉の多い「財政」ですが、より多くの皆さんに市の財政状況を知っていただくために、できるだけ分かりやすい表現を心がけて本資料を作成しました。

市の事業は、小・中学校や道路の整備、ごみの収集処理など、皆さんの生活に密着したものばかりです。この資料を通して、市民の皆さんに、市の事業や財政状況に対する理解を深めていただきたいと思います。



もくじ

P1　はじめに
P2　1 そもそも財政ってなに？
P2　2 どのくらいのお金を扱っているの？
P3　3 どこからどんなお金が入ってきたの？
P3　4 市民からどのくらいお金をもらっているの？
P4　5 何にどのくらいお金を使ったの？
P4　6 教育にはどのくらいお金が使われているの？
P5　7 預金はどのくらいあるの？
P5　8 ふるさと応援寄附金に頼ってはいけないの？
P6　9 借金はどのくらいあるの？
P7　10 家計におきかえると・・・・
P8　11 こんなことにお金が使われています

※本資料では、総務省が定めた全国一律のルールにより算出した、普通会計決算に基づいて記載しています。
ただし、説明文の一部には、分かりやすさを重視する観点から表記を変更している部分があります。

本文中に出てくる「19 市平均」とは、須坂市を含む県内全市の平均です。
（長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市の 19 市の平均）

「類似団体平均」とは、人口規模、産業構造により 35 グループに分類された同分類に属する県内都市の平均です。
2025（令和 7）年度は、須坂市、小諸市、大町市、飯山市、東御市の5市の平均で記載しています。

1 そもそも財政ってなに？



市町村などがお金をやりくりして行なう経済活動全般を **財政** といいます。

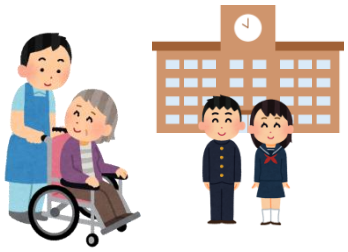
具体的には

個人や企業の方に納めていただいた税金や国や県から入ってくるお金、銀行からの借金、積立てたお金などを使って、道路や学校などの公共施設の整備、福祉や教育などの公共サービスの提供を行うことです。

入ってくるお金
税金・国や県からのお金・銀行からの借金など



出ていくお金
公共工事や公共サービス提供のために支払う代金など



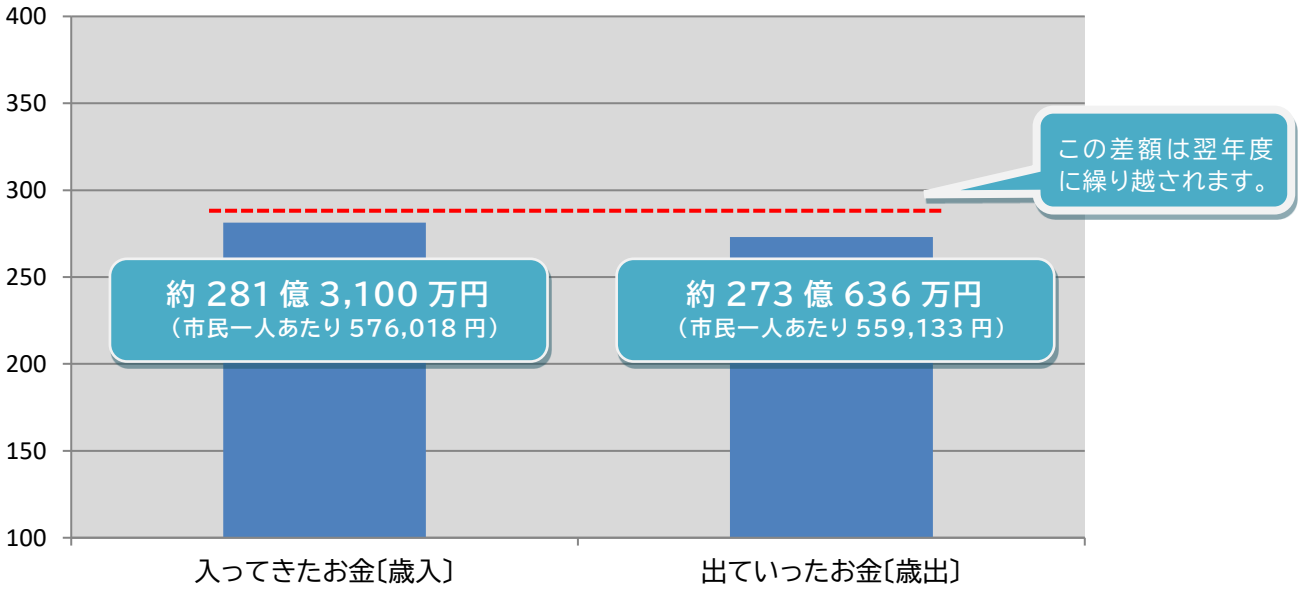
公共サービスの提供

2 須坂市ではどのくらいのお金を扱っているの？



それでは、須坂市が 1 年間にどのくらいのお金を扱っているか見てみましょう。

（単位：億円）　　2025（令和 7）年度　普通会計決算額



300億円ってイメージできないけど、どのくらい？



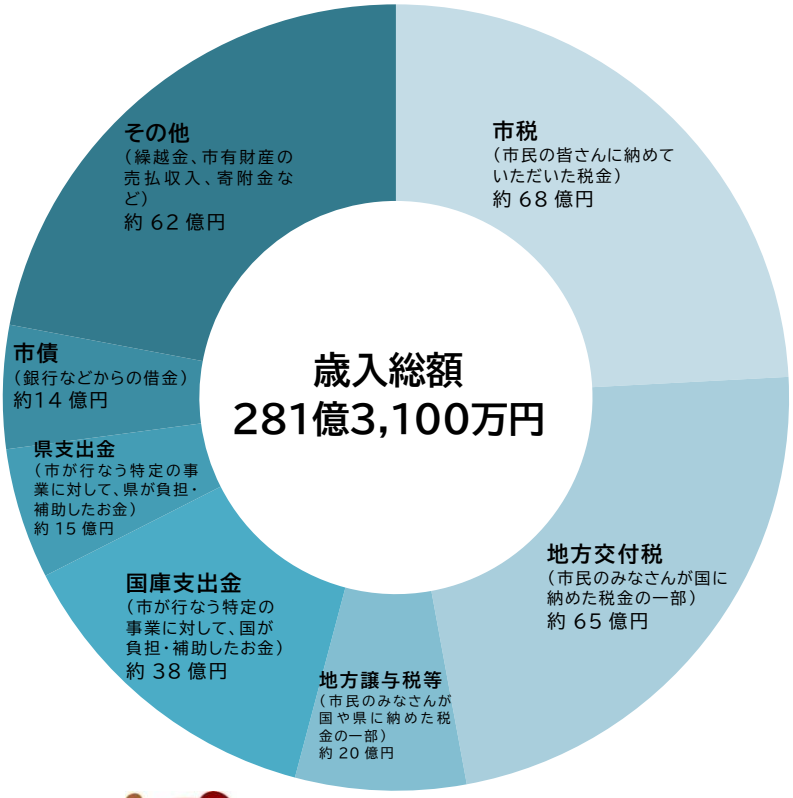
中学校体育館×60 個＝約 300 億円
（相森中学校体育館建設費　約5億円）





3 どこからどんなお金が入ってきたの？

では、2025（令和 7）年度に須坂市に入ってきたお金（歳入）を見てみましょう。



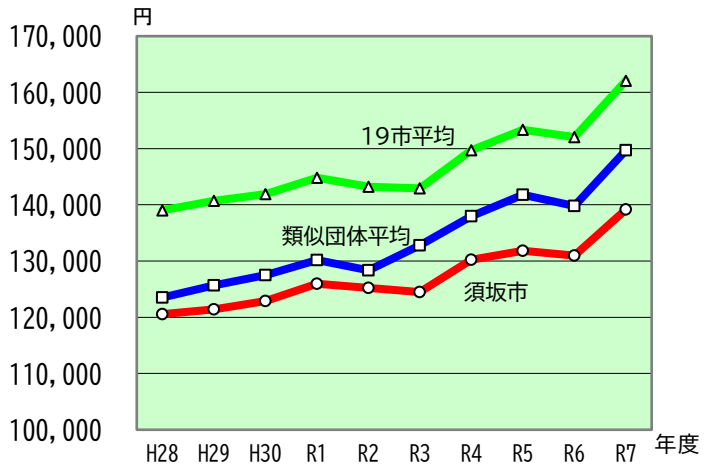
須坂市の運営は市が自主的に集めるお金だけではまかなえず、国・県からもらうお金や、銀行などからの借金を使って運営されています。

それでも市民の皆さんから納めていただいたお金（市税）は、市の重要な財源となっています。



4 市民からどのくらいお金をもらっているの？

■ 市民一人あたり市税（市民に納めてもらった税金）の推移



須坂市の2025（令和 7）年度市民一人あたり市税収入は、139,168 円で県内 19 市中 18 位と下位に位置しています。

内訳は固定資産税（住宅や土地にかかる税金）56,352 円（同 19 位）、個人市民税 55,818 円（同 14 位）、法人市民税 10,184 円（同 13 位）です。

他市に比べ、市税が少ないということは、須坂市独自の判断で自由に使えるお金が少ないということになります。

家計に例えると、自由に使えるお金がないので、欲しいものを我慢して、出費を最小限に節約するのと同じですね。



5 何にどのくらいお金を使ったの？



では、2025（令和 7）年度に須坂市が使ったお金（歳出）を見てみましょう。
「なんのために使ったか」という観点（目的別）で分類したものを見てみましょう。



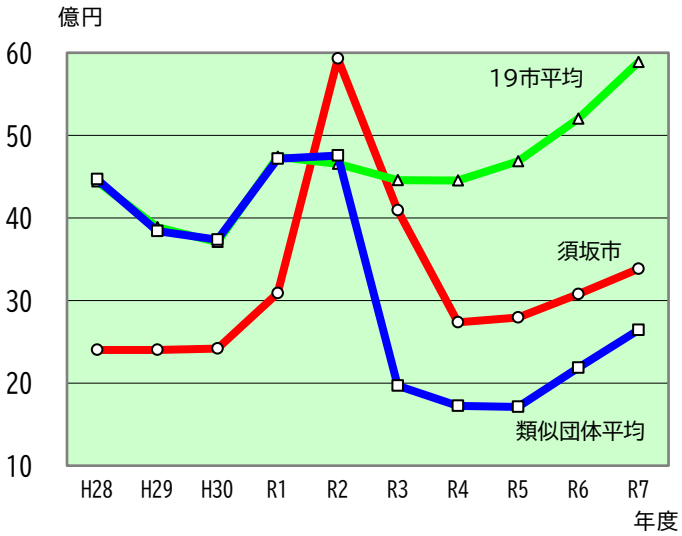
2025（令和 7）年度は、改正による児童手当の増額などにより民生費が約 94 億円と一番多くなりました。次に多いのが総務費で約 35 億円です。市民生活への支援や福祉の関係に非常に多くのお金を使っていることが分かります。そのほか、教育費、土木費にも多くのお金が使われています。

6 教育には毎年どのくらいお金が使われているの？



それでは、教育費の推移を見てみましょう。

■ 教育費の推移



2025（令和 7）年度、須坂市の教育費は 33 億 8,278 万円でした。学校給食センターなどの大規模工事を行った 2020（令和2）年度や2021（令和3）年度を除くと、近年では 30 億円を超えるお金をかけています。

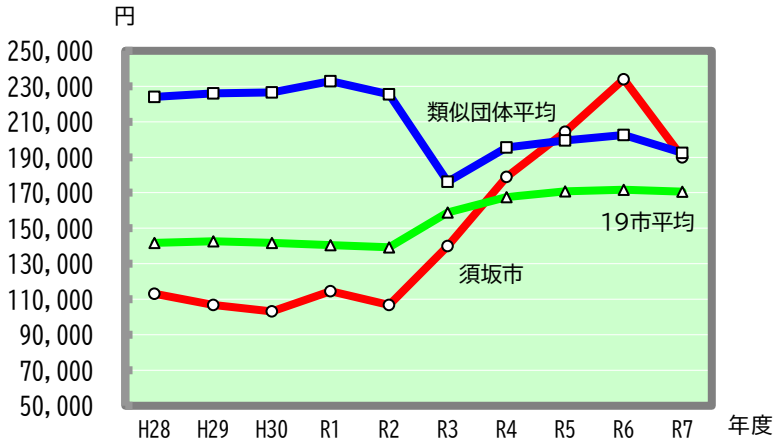
教育費には公民館の社会教育事業なども含まれますが、小中学校の施設整備や修繕、教材の購入などに多くのお金が使われています。

7 須坂市の預金はどのくらいあるの？



須坂市は将来、多大な費用が見込まれる事業に対応するため、目的に応じた預金（積立金）をしています。これを市では「基金」と呼んで管理しています。

■ 市民一人あたり積立金残高の推移

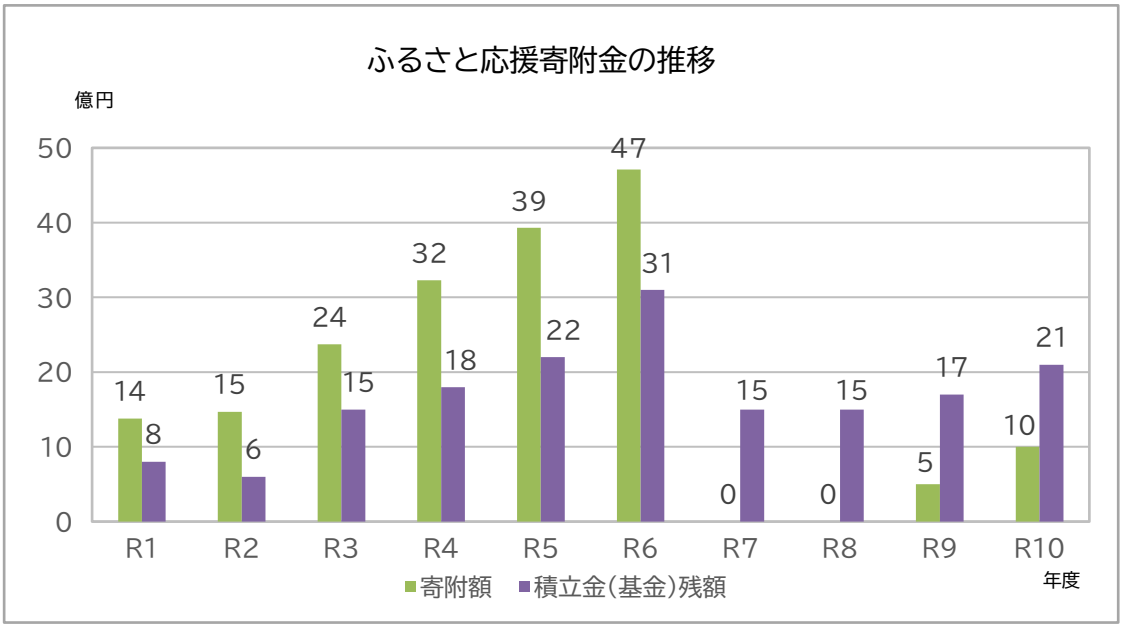


須坂市の2025（令和7）年度末の積立金残高は約 93 億円、市民一人あたりの積立金残高は189,917 円で、2024（令和6）年度末から積立金残高は約35 億円、市民一人あたりは約44,000 円減少しました。

8 ふるさと応援寄附金はなくなってしまったの？



ふるさと納税返礼品の産地偽装及び市の対応により、2025（令和7）年度から２年間、ふるさと納税対象団体としての指定取り消し処分を受けました。これを受け速やかに「財政健全化実行宣言」を発令し、真に必要な事業実施とするため、スピード感を持って事業見直し等に取組んだ結果、直ちに財政再生団体に陥るような状況は回避できました。今後も人口減少や物価高による経費の増加、公共施設の維持改修に対する多大な経費が見込まれ、極めて厳しい財政状況が続くことが想定されることから、健全財政に向けた行財政改革はいまだ「道半ば」です。引き続き、財務体質改善を図るため「既存事業を磨き、つなぐ」見直しにチャレンジします。



※2025（令和 7）年度までは決算額、2026（令和 8）年度以降は目標額

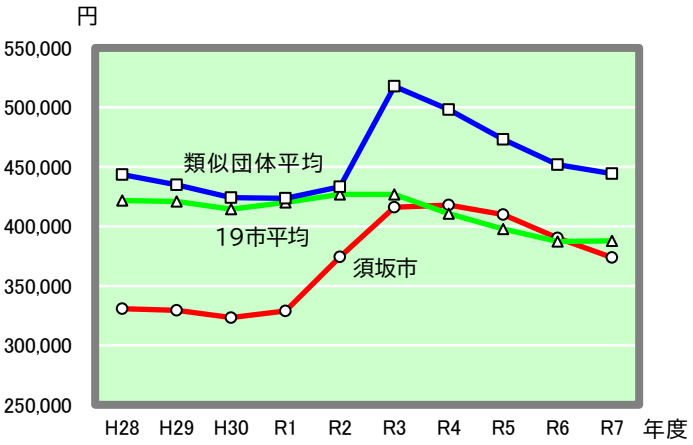
9



須坂市の借金はどのくらいあるの？

市の借金は、市債の状況を見ることで分かります。市債とは、市が必要なお金を調達するために負担する債務（ローン）のことです。

■ 市民一人あたり市債残高の推移



須坂市の 2025（令和7）年度末の市債残高は約183億円です。

市民一人あたりの市債残高は約 37 万円、19市の中で 5 番目に借金が少ない状況です。

預金がたくさんあるのになんで借金するの？



例えば学校を建てると、その後、何十年と使っていくことになるので、建てたときの世代の人たちだけでこのお金を負担するのは不公平です。分割払いにすることで、将来の世代の人たちにも公平に負担してもらいます。

また、建物や道路の整備には多額の費用がかかるため、一度に支払ってしまうと、その年度は他のことができなくなってしまいます。

10



須坂市の財政を家計におきかえると・・・

イメージしやすいように須坂市の1年間の収支を家計簿に当てはめてみましょう。家計と市の会計では、お金の使い道も規模も全く違いますが、2025（令和 7）年度に須坂市へ入ってきたお金 281 億 3,100 万円を年収 500 万円の家計に例えてみました。

収　入

給　料		市　税	自主財源	120 万円
パート収入		使用料・手数料など		6 万円
駐車場収入		財産収入		1万円
親からの仕送り	使い道は自由	地方交付税	依存財源	115 万円
	使い道がきまっている	国・県支出金		94 万円
借　金		市　債		25 万円
その他の収入		負担金や地方譲与税など		139 万円
合　　計				500 万円

支　出

食　費	人件費	97 万円
医療費	扶助費	92 万円
光熱費や町内会費などの雑費	物件費・補助費など	131 万円
車や家電の修理代	維持補修費	4 万円
子どもたちへの仕送り	繰出金	34 万円
借金の返済	公債費	44 万円
家の増改築	投資的経費	53 万円
友人へ貸すお金	貸付金など	19 万円
その他の支出	積立金など	11 万円
合　　計		485 万円

家計でいう給料（市税）が少ないことや、医療費（扶助費）が多くかかっていることが分かりますね。





皆さんの身近では、こんなことにお金が使われています



須坂小学校・須坂支援学校改修工事

小学校施設整備事業

須坂小学校・須坂支援学校の屋根や外壁、教室の壁や床の改修を行い、施設の長寿命化を図りました。

2025(令和 7)年度決算額　2億 1,823 万円

道路改良事業

市民生活に欠くことのできない道路を
計画的・機能的に整備しました。

2025(令和 7)年度決算額　4 億 5,902 万円



須坂長野東インターチェンジ周辺の道路整備



学校給食センター管理事業

須坂市学校給食センターの維持管理や運営、給食の調理や配達等を行いました。

2025(令和 7)年度決算額　5 億 6,339 万円

ごみ収集事業

市内の家庭から出る可燃ごみや不燃ごみの収集を行いました。

2025(令和 7)年度決算額　9,552 万円





消防通信指令室の長野市との共同運用開始

消防施設整備事業

業務効率化や情報共有、大規模災害時には相互応援体制を迅速かつ柔軟に確立できるよう、長野市と連携し、消防通信指令室の共同運用を開始しました。

2025(令和 7)年度決算額　4 億 2,964 万円

MEMO